

P.U.P. News

VOL. 1

2019年4月20日(土) 発行

発行元：進路指導部

御入学・御進級 おめでとうございます

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。新入生を迎え、新学期がスタートしました。今年度も生徒の目標実現のために進路指導部として、取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

さて、新入生のみなさんに覚えて欲しいこの通信の名称でもある「PUP」についてです。在校生には再確認になります。「PUP」とは、「Pile Up Plan」の略称です。「積み上げる」という意味の英語「Pile Up」からきています。

中高一貫校である本校では、中学1年生から将来のことを見据えて、人生設計を模索・構築し、自分の夢に向かって高校卒業時に自信を持って進路実現をしようという目的があります。「PUP」は、本校独自の進路教育プランの総称になっています。

各学年において1年を通して行うことは、大まかに以下の通りとなります。自分の学年を確認しましょう。

- *中1～中2…「自己の長期スパン（30年後・20年後・10年後）の将来像」と「職業観」を学ぶ。
- *中3～高1…「自己の短期スパン（7年後・5年後・3年後）の将来像」と「学部学科・資格研究」を学ぶ。
- *高2…「受験科目の選定」と「受験校選定」の時期とし、希望進路先を明確なものとしていく。
- *高3…明確な進路希望先を確定し、自己完成を目指す。

皆さんの進路実現のために、年間を通して様々なプログラムが企画されています。楽しみにしててください。

進路指導部員の紹介

佐野 聡史 (国語科)

13期生が卒業して思ったこと。それは、、、、

「人は変わる」

ということです。中学・高校へ入学、進学した今、そのチャンスです。

そろそろ自分のことを考えて、周囲の環境のことを考えて行動を起こしましょう。

「まだ中学生だから」「まだ1年生だから」ではないのです。

どんどん努力してどんどん伸びましょう。そうするとどんどん変わります。それが「成長」です。

真栄里 賢治 (数学科)

引き続き進路指導部の担当となります。希望進路（行きたい大学、なりたい職業など）がはっきりとしていて、かつ、それを実現したいという思いが強い生徒ほど努力を怠らないし、成績も向上する傾向があるように思います。成績を上げるために勉強方法を見直すことも大切ですが、自分の進路を真剣に考え、普段の勉強が将来に繋がっているという意識を強くもつことも大切だと思うので、進路指導部としてその手助けができればと考えています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

神谷 晃輔 (英語科)

入学・進級おめでとうございます。沖縄カトリック中学・高等学校での学びが将来につながるよう、精一杯サポートしていきたいと思えます。僕自身が受験生だったとき、先生から「やるだけやってダメならダメで仕方ない」と言われたのですが、この言葉は今の自分の働き方・生き方にもつながっているような気がします。「やりきれた！」と思える1年間を過ごしましょう！

西里 咲 (国語科)

進路指導部2年目となります。今年度もよろしくお願いいたします。

生徒の皆さんはうんざりするかもしれませんが、大人にも勉強はあります。私も国語科として、仕事に必要な専門的知識、ICT等の不易流行はもちろん・・・なぜか全く仕事に関係のない「まちづくり」の勉強にも励む毎日です。学ぶことに、究極的には理由は不要だと思っております。どうせなら楽しんだもの勝ちですね！

宮國 佳子 (理科)

去年から引き続き、進路指導を担当します。『先制点をとれ』スポーツをしている人、スポーツ観戦をする人はよく耳にする言葉ではないでしょうか。なにがとも、滑り出しが順調であれば、好調な波にのってものごとがスムーズに運ぶことが多いものです。今はそのチャンスです。未来の自分のために、努力する習慣をモノにしましょう。「やろう」と思う、皆さんの決意を応援します。一緒にがんばりましょう。

藤井 妙子 (国語科)

私の好きな言葉に「克己(こっき)」があります。「おのれにかつ(自分自身の弱い心に打ち勝つ)」という意味ですが、では、「自分自身」って一体どんな人物でしょう？何が得意で、どんな性格で、弱点は何か、など自分のことを知らなければ、自分自身に打ち勝つことはできません。中高6年間を通して、「おのれ」を知り、進むべき道を切り開いていきましょう。そのためのサポートを精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本村 直樹 (数学科)

保護者の皆様、新年度より入試広報部から移動し、久しぶりの進路指導部を担当させていただきます本村です。保護者の皆様のサポートして頂きながら、生徒の進路実現のために励んで参りたいと思えますので、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。生徒の皆さんは何事に置いても、「守破離(しゅはり)」を実践して下さい。「守」・・・まずは真似ること。「破」・・・次に、破り始めること。型を破り自己流を模索すること。「離」・・・最後に離れること。自己流を完成させること。以上の3つをまずはこの一年意識してみましよう。令和元年が、皆さんにとって良いスタートの1年となるようにサポートしていきます。

春の勉強合宿

3月21日（木）～3月25日（月）まで名護青少年の家で勉強合宿を行いました。新高校2年生・3年生の25人が挑んだ、AM8:30～PM9:30まで自主学習を行う4泊5日に及ぶ大試練です。途中から、オーストラリア語学研修に参加した生徒2人が、なんと帰国の翌々日から参加！そのアグレッシブな姿勢にみな励まされました。実は初め、最後まで乗り越えられるかと心配もしていました。しかし、日に日に結束を固めて乗り越えようとする一同を見て、杞憂であったことを喜びました。今年もまた、最終日に一問一答テストのグループ戦を行うと、（採点ミスによるまさかの）一点差の大逆転劇があるなど、最後の最後まで刺激的な合宿となりました。

次年度も意欲ある生徒の参加をお待ちしております！！



ポートフォリオって何？

～ポートフォリオ評価とは？～

自己評価として最近注目されているのが、ポートフォリオ評価です。生徒が作ったポートフォリオを合否に使う取組みが始まる大学も出てきます。（「JAPAN e-Portfolio」のサイトでは参画大学一覧が随時更新されています。）ポートフォリオ評価とは学んだ資料やワークシートやレポート、作文などの学習履歴をクリアファイルやバインダーなどに時系列に綴じていくというものです。ポートフォリオ評価には次のような効果が期待されます。

- 1、自分自身が何を学んだかが明らかになり、何が課題かを明らかにすることができる。
- 2、その結果、次の学習の計画の策定や次の活動に意欲的に取り組むことができる。
- 3、達成感や自己有効感を育成することができる。

このようにポートフォリオ評価は、自分自身による形成的な役割を持った自己評価として有効な方法で「総合学習」をより効果的に展開していくことを可能にします。また、進路選択やAO入試・推薦入試の際などにも威力を発揮します。まずは自分自身が取り組んできたことの証として様々なものを綴っていきましょう。自分のことは自分自身しか知らないものですが、ファイルを見ることによって自分自身を客観視することができます。

自習室のススメ

3階奥の左側に進路資料室があり、自習室として主に高校生が利用しています。中学生は図書館を自習室として利用できます。進路資料室の利用時間は、朝 7:00～7:50、放課後 終礼後～18:20となっています。赤本などの問題集、先輩方の推薦入試を終えてのアドバイス集も置いています。進路実現に向けてぜひ活用して下さい。利用する際には以下の基本的マナーを守って利用して下さい。

〈自習室利用心得〉

- ①自習室では制服の正しい着用で学習すること。制服の上にジャージ類を着たり、運動着での学習は禁止。
- ②飲食・居眠り・私語は厳禁。
- ③電子辞書以外の電子機器の使用は禁止。
- ④過去問題利用は自由だが持ち出しは基本的禁止。
- ⑤資料室のパソコン利用は監督者の許可を得てからすること。

マナーを守ってみんなが気持ちよく使えるようにしよう！！

